

Microsoft 365

多要素認証設定マニュアル

システム企画推進課

作成日： 2024 年 1 月 25 日

変更履歴

| 日付 | 内容 |
|------------|-------|
| 2024年1月25日 | ・初版作成 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 多要素認証の概要 | 4 |
| 1-1 多要素認証とは | 4 |
| 1-2 導入の背景 | 4 |
| 1-3 多要素認証の組み合わせ | 4 |
| 1-4 多要素認証が必要なシステム | 5 |
| 1-5 多要素認証が不要なシステム | 5 |
| 2. 多要素認証の初期設定手順 | 6 |
| 2-1 電話番号を用いた認証方式の設定 | 6 |
| 2-1-1 Microsoft365 にログイン | 6 |
| 2-2 認証アプリを用いた認証方式の設定 | 10 |
| 2-2-1 Microsoft365 にログイン | 10 |
| 3. 多要素認証の認証手順 | 16 |
| 3-1 電話番号を用いた認証 | 16 |
| 3-2 認証アプリを用いた認証 | 19 |
| 4. よくある質問 | 21 |

1. 多要素認証の概要

1-1 多要素認証とは

多要素認証とは、パスワード入力に加えて、本人しかできない追加の認証を設定することで、本人以外のなりすましを防止する方法です。本学では、全ての学生・教職員に対して多要素認証を有効化します。(※学内利用の場合、多要素認証は不要です。)

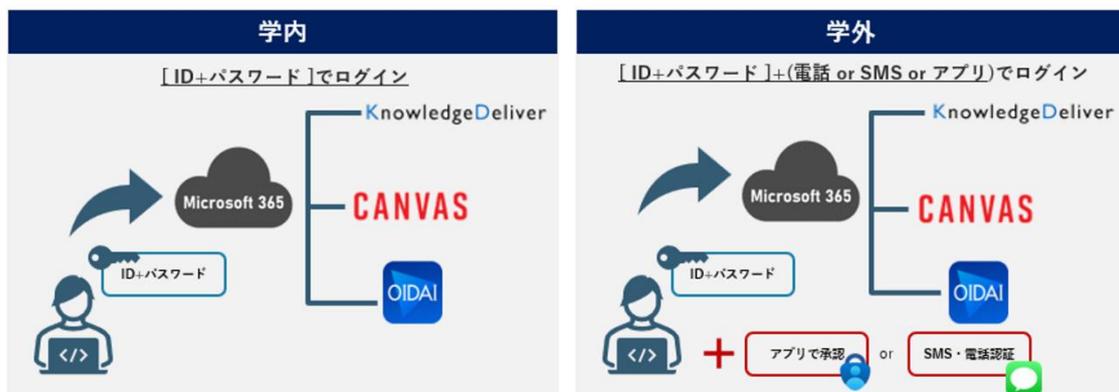
1-2 導入の背景

本学が契約している「Microsoft 365 (Haruka メール、OneNote 等)」では、ID とパスワード認証により様々なアプリがご利用いただけます。また OIDAI アプリや CAMPUSSQUARE など Microsoft 365 の認証システムを利用してシングルサインオンするシステムも多くあります。これは便利な反面、アカウントが何らかの方法で盗み取られると、本学サービスに外部からの侵入を許すことになり、学内外に重大な損害を及ぼす恐れが生じます。このような危険を未然に防ぐ方法として、近年多要素認証の導入事例が増えています。

1-3 多要素認証の組み合わせ

本学では、以下のいずれかの情報を組み合わせた多要素認証を利用することができます。次頁以降を参考に必ず設定してください。

- 電話による音声ガイダンス
- SMS による確認コード
- Microsoft Authenticator (スマホアプリ)



1-4 多要素認証が必要なシステム

以下システムを学外から利用する場合に多要素認証が必要です。

| システム | 備考 |
|--------------------------|-------------------------|
| Microsoft 365 (Web サービス) | Haruka メール 他 |
| Office 365 デスクトップアプリ | Word、Excel、PowerPoint 他 |
| OIDAI アプリ | |
| OI サポ | |
| CAMPUSSQUARE | |
| Canvas | |
| KnowledgeDeliver | |
| Dropbox | ※事務職員は学外から利用できません |
| inbox | ※教職員限定 |

1-5 多要素認証が不要なシステム

以下システムは多要素認証の対象外となります。

| システム | 備考 |
|----------------|----|
| 学内教育用パソコン | |
| 学内オンデマンドプリンタ | |
| 学内無線 LAN | |
| VPN (リモートアクセス) | |

2. 多要素認証の初期設定手順

初期設定は、多要素認証実施日以降に、自宅等の学外ネットワークに接続している状態で作業してください。

2-1 電話番号を用いた認証方式の設定

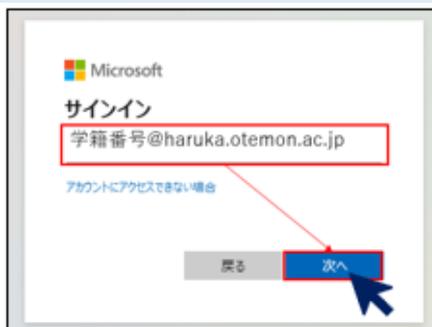
電話番号を用いた認証方法を登録します。

※海外で初めて設定・認証する場合は、SMS/電話などの電話回線が必要な認証方法ではなく、インターネットへの接続が可能であれば「2-2 認証アプリを用いた認証方式の設定」を設定いただくことをお勧めします。

2-1-1 Microsoft365 にログイン



- ①Web ブラウザでシステム企画推進課のホームページにアクセスします。「Haruka メール/Microsoft365」のボタンをクリックします。
<https://www.ccile.otemon.ac.jp/>



- ②サインイン画面が表示されますので、メールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。



- ③パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。



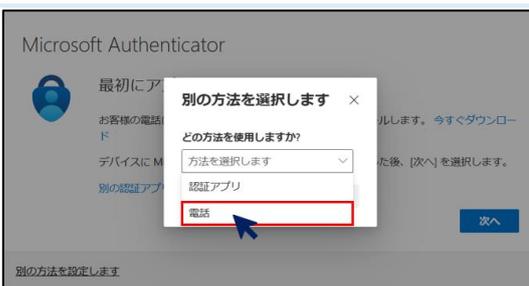
④ 「次へ」をクリックします。



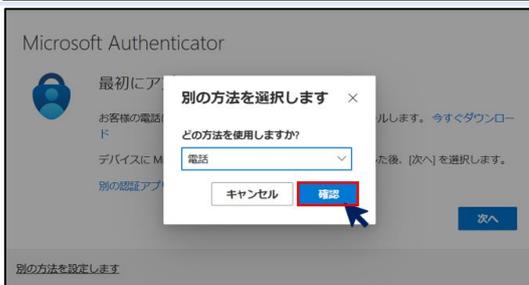
⑤ 「別の方法を設定します」をクリックします。



⑥ プルダウンをクリックします。



⑦ 「電話」を選択します。



⑧ 「確認」をクリックします。

電話

電話で呼び出しに応答するか、電話でコードを受け取るにより、本人確認ができます。

どの電話番号を使用しますか?

Japan (+81)

コードを受け取る

電話する

メッセージとデータの通信料が適用される場合があります。[次へ] を選択すると、次に同意したことになります。 [サービス使用条件](#) および [プライバシーと Cookie に関する声明](#)。

別の方法を設定します

【コードを受け取るを選択する場合】

⑨国コードは「Japan (+81)」を選択し、自身の電話番号を入力します。本人確認のため「コードを受け取る」を選択し、「次へ」をクリックします。

電話

+81 に 6 桁のコードをお送りしました。コードを以下に入力してください。

[コードの再送信](#)

別の方法を設定します

⑩SMS でコードが送信されるので、届いた 6 桁のコードを入力し、「次へ」をクリックします。



⑪左記の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

アカウントのセキュリティ保護

組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。

電話

検証が完了しました。電話が登録されました。

⑫左記の画面が表示されると登録は終了です。「完了」をクリックします。

アカウントのセキュリティ保護

組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。

成功

セキュリティ情報が正常にセットアップされました。[完了] を選択し、サインインを続行します。

既定のサインイン方法:

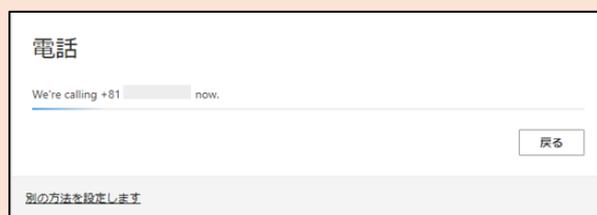
電話
+81

これで設定完了です。



【電話するを選択する場合】

⑨国コードは「Japan (+81)」を選択し、自身の電話番号を入力します。本人確認のため「電話する」を選択し、「次へ」をクリックします。

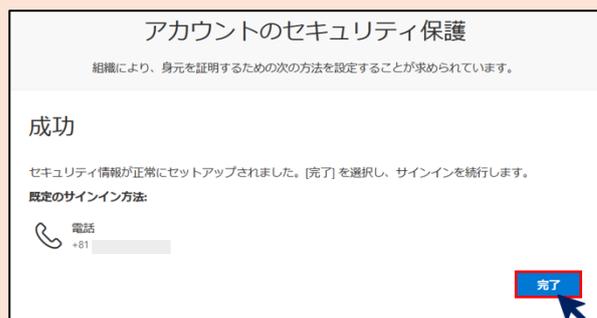


⑩入力した電話番号宛に着信があるので、電話に応答します。

電話を取った後、音声の指示に従ってキーパッド画面を出し、「#」を押します。



⑪左記画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



⑫左記の画面が表示されると登録は終了です。「完了」をクリックします。

これで設定完了です。

2-2 認証アプリを用いた認証方式の設定

認証アプリを使う認証方式を登録します。

2-2-1 Microsoft365 にログイン

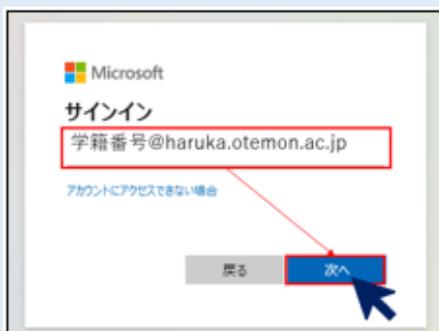


【PC側の操作】

①Web ブラウザでシステム企画推進課のホームページにアクセスします。「Haruka メール/Microsoft365」のボタンをクリックします。

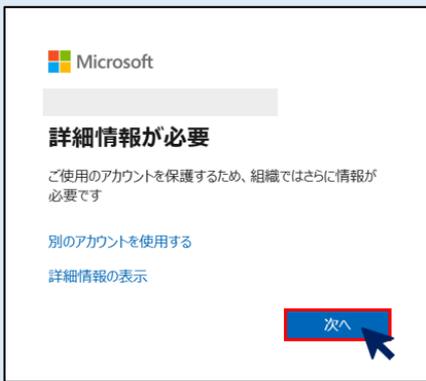
<https://www.ccile.otemon.ac.jp/>

②サインイン画面が表示されますので、メールアドレスを入力し、「**次へ**」をクリックします。



③パスワードを入力し、「**サインイン**」をクリックします。





④ 「次へ」をクリックします。



⑤ 「次へ」をクリックします。



⑥ 「次へ」をクリックします。



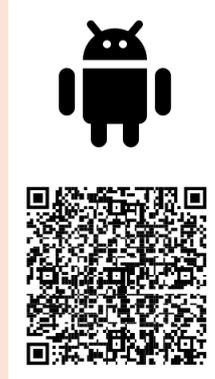
⑦ QR コードが表示されることを確認します。

※画面を表示したまま次の手順に進んでください。



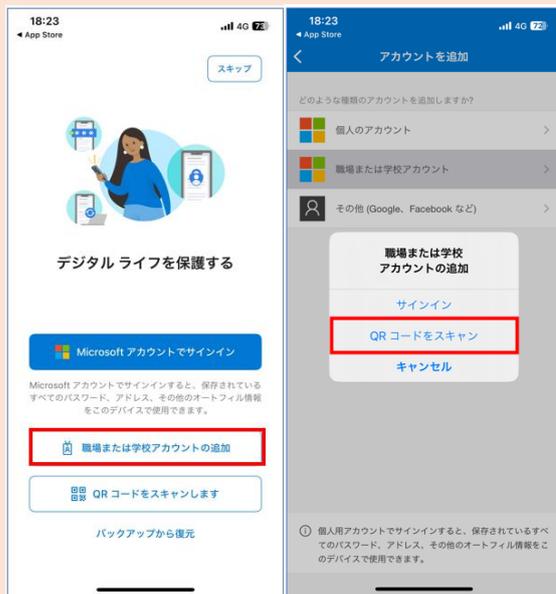
【スマートフォン側の操作】

⑨ 「Microsoft Authenticator」をダウンロードします。



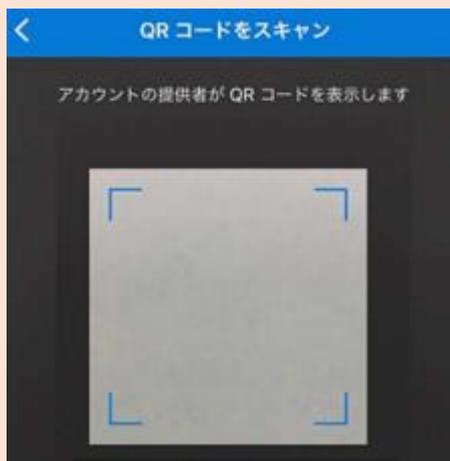
⑩ 「承諾する」を押します。

⑪ 「続行」を押します。

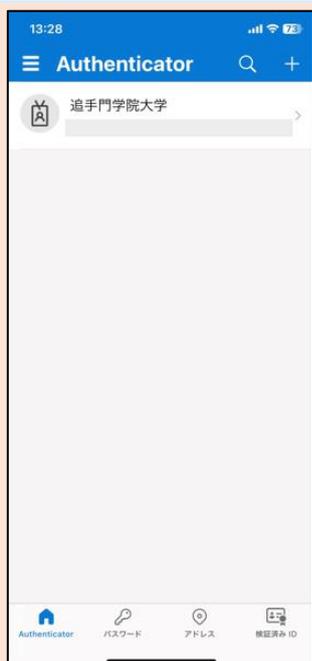


⑫ 「職場または学校アカウントの追加」を押します。

⑬ 「QRコードをスキャン」を押します。



⑭ QRコードをスキャンする画面が表示されるため、手順⑦でPCの画面に表示したQRコードを読み取ります。

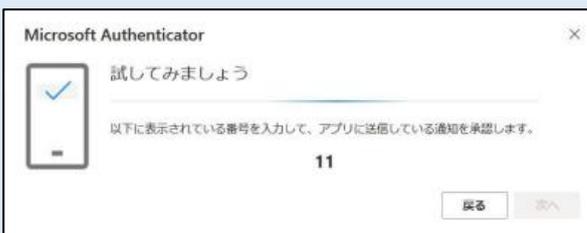


⑮アカウントが追加されたことを確認します。



【PC 側の操作】

⑯手順⑦での画面で「次へ」をクリックします。



⑰「試してみましょう」の画面が出ることを確認します。

※画面を表示したまま次の手順に進んでください。



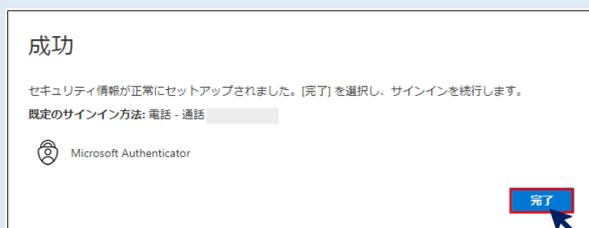
【スマートフォン側の操作】

- ⑱ 「サインインしようとしていますか？」という画面が表示されるので、手順⑰で表示された2桁の数字を入力し、「はい」を押します。



【PC側の操作】

- ⑲ 「次へ」をクリックします。



- ⑳ 「完了」をクリックします。

これで設定完了です。

3. 多要素認証の認証手順

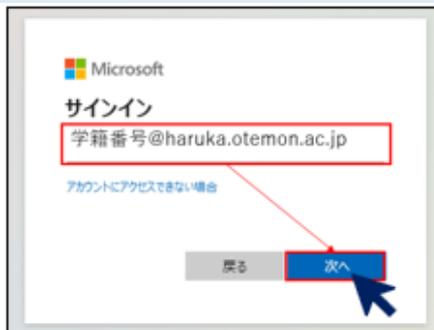
3-1 電話番号を用いた認証

電話番号を用いた認証を説明します。

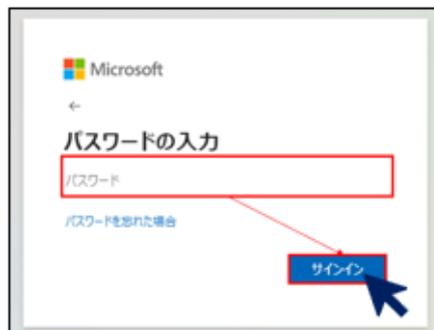


①Web ブラウザでシステム企画推進課のホームページにアクセスします。「Haruka メール/Microsoft365」のボタンをクリックします。

<https://www.ccile.otemon.ac.jp/>



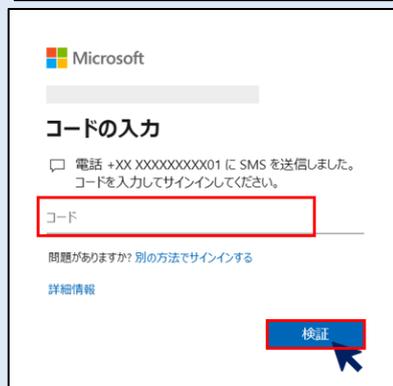
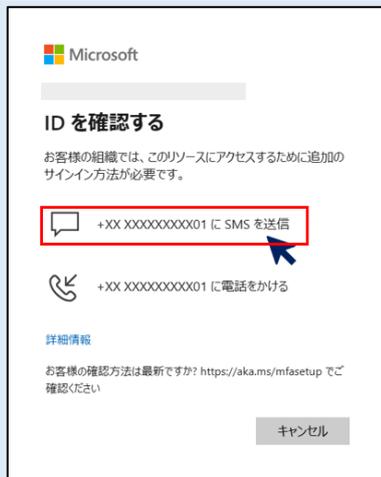
②サインイン画面が表示されますので、メールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。



③パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。



④ID を確認するの画面が表示されます。



【SMS を送信選択する場合】

⑤ 「xxx に SMS を送信」をクリックします。

⑥SMS でコードが送信されるので、届いた 6 桁のコードを入力し、「検証」をクリックします。



⑦Microsoft 365 へようこそ画面が表示されれば完了です。

これで認証完了です。



【電話をかけるを選択する場合】

⑤ 「xxx に電話をかける」をクリックします。



⑥電話の指示にしたがい、「#」を押します。



⑦Microsoft 365 へようこそその画面が表示されれば完了です。

これで認証完了です。

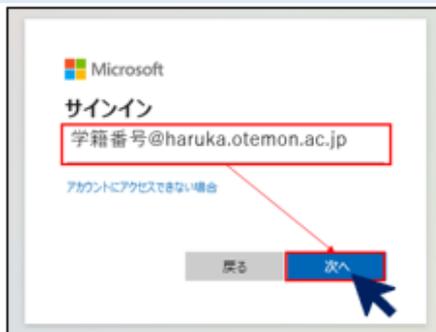
3-2 認証アプリを用いた認証

認証アプリを用いた認証を説明します。

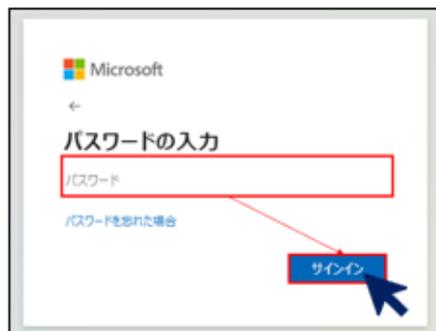


①Web ブラウザでシステム企画推進課のホームページにアクセスします。「Haruka メール/Microsoft365」のボタンをクリックします。

<https://www.ccile.otemon.ac.jp/>



②サインイン画面が表示されますので、メールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。



③パスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。



④「サインイン要求を承認」の画面が出ることを確認します。

※画面を表示したままスマートフォンの通知を確認してください。



【スマートフォン側の操作】

- ⑤ 「サインインしようとしていますか？」という画面が表示されるので、手順④で表示された2桁の数字を入力し、「はい」を押します。



【PC側の操作】

- ⑥ Microsoft 365 へようこそ画面が表示されれば完了です。

これで認証完了です。

4. よくある質問

Q 多要素認証の設定に何度も失敗します。どうすれば良いですか？

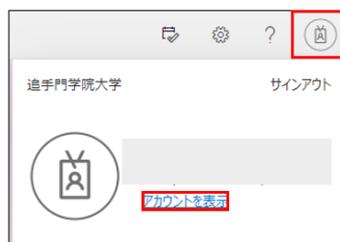
安威キャンパスもしくは総持寺キャンパスのシステム企画推進課窓口までご相談ください。

Q 認証方法を変更できますか？

多要素認証では、複数の認証方式を設定することが可能です。以下の手順を参考にしてください。



①Microsoft365 のポータルサイトにサインインします。



②「アカウントを表示」をクリックします。



③セキュリティ情報の「更新情報」をクリックします。



④「サインイン方法の追加」をクリックして、新しい認証方法を追加します。



Q 多要素認証の設定は自宅など学外からできますか？

多要素認証の設定は、インターネットに繋がる場所からであれば、自宅など学外からでも設定していただけます。

Q スマートフォンを機種変更した際はどうすれば良いですか？

まずは「認証方法を変更できますか？」の手順を参考に認証方法を変更してください。
登録された方式で認証が行えない場合は、多要素認証の再登録となります。学生証をご持参のうえ、安威キャンパスもしくは総持寺キャンパスのシステム企画推進課窓口までお越しください。

Q 設定しているスマートフォンが故障した（または紛失した）時はどうすれば良いですか？

まずは「認証方法を変更できますか？」の手順を参考に認証方法を変更してください。
登録された方式で認証が行えない場合は、多要素認証の再登録となります。学生証をご持参のうえ、安威キャンパスもしくは総持寺キャンパスのシステム企画推進課窓口までお越しください。

Q スマートフォンに身に覚えの無い多要素認証の通知が届いた場合どうすれば良いですか？

ID 及びパスワードが漏洩した可能性があります。 急ぎパスワード変更をお願いいたします。
※パスワードの使い回しをされている場合、同じく漏洩している可能性があります。
そちらの確認及びパスワード変更も実施してください。